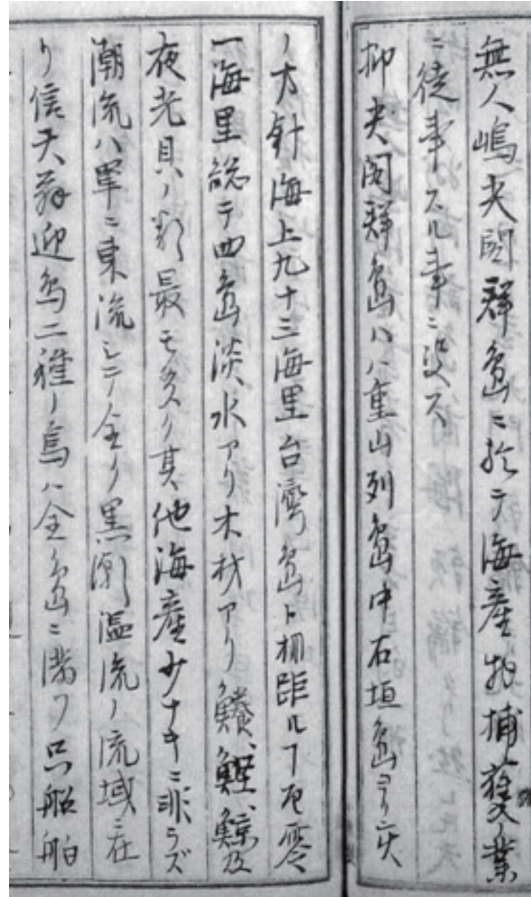
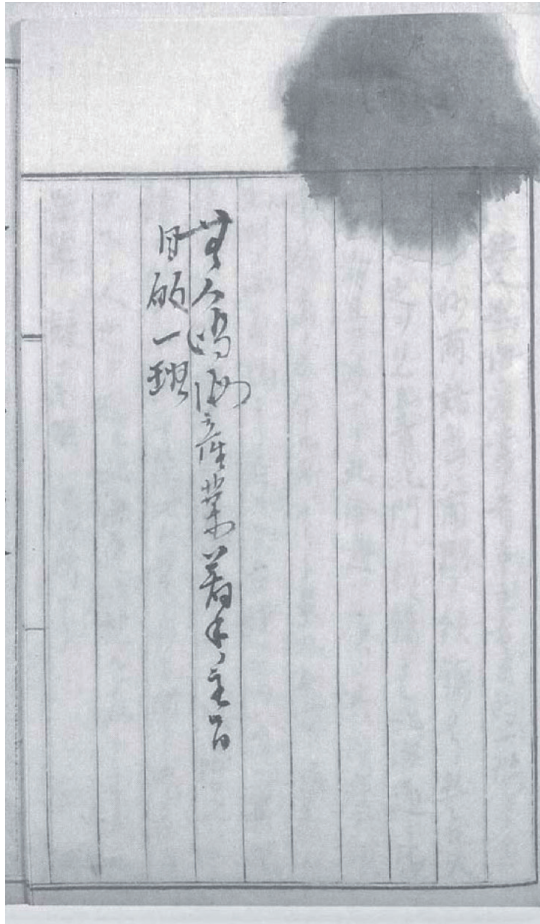


時代区分II (3)-①熊本方面から尖閣諸島への進出を示す資料

尖閣諸島への出漁計画書

No.12 無人嶋海産業着手ノ主旨目的一斑

報H26/P11 1893年(明治26年)



所蔵: 沖縄県公文書館

資料概要

野田正(熊本県士族)が率いる漁業者集団が作成した尖閣諸島への出漁計画書。同諸島に出漁することを決定した理由として、淡水があること、鯷(カツオ)や夜光貝が多く、その他の海産物も少なくないことを上げている。

※資料画像は、神奈川大学常民文化研究所所蔵(祭魚洞文庫)の『琉球八重山嶋取調書 附録』を法政大学沖縄文化研究所が撮影(2007年(平成19年))したもの。

内容見本

今春、野田正、山隈惟男ハ漁業者一名ヲ従ヘ先島列島ノ間ニ渡航シ探検スル所アリ。遂ニ、八重山諸島ト台湾島トノ間ニアル無人島、尖閣群島ニ於テ海産物捕獲ノ業ニ従事スル事ニ決ス。

抑、尖閣群島ハ八重山列島中石垣島ヨリ亥ノ方針海上九十三海里、台湾島ト相距ルコト百零一海里総テ四島淡水アリ木材アリ。鱣、鯷、鯨及夜光貝ノ数最モ多ク其他海産少ナキニ非ラズ。

作成年月日	1893年(明治26年)
編著者	-
発行者	-
収録誌	琉球八重山嶋取調書 附録
言語	日本語
媒体種別	紙
公開有無	有
所蔵機関	沖縄県公文書館
利用方法	沖縄県公文書館で利用手続きを行う